



# 日本の気象の特徴(春～夏)

## ◎大気の動き

大気の厚さは地上数百 km あるが、主な気象現象が起きるのは、地上 **10** km 程度である。

地球の半径(約 6400km)などに比べてもとても小さい。



## ◎春

**移動性高気圧**

と低気圧が、日本付近を交互にやってきて、

**西**

から

**東**

に次々と通り過ぎる。4～6日周期で天気が変わる。

・高気圧が近づく → 天気が **良** くなる。温暖で乾燥した日になる。

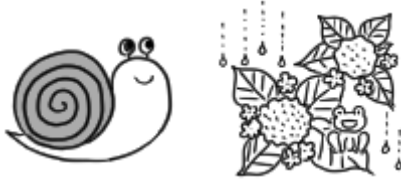
昼夜の温度差が **大き** くなる。

・低気圧が近づく → 天気が **悪** くなる。

天気が

**周期的**

に変わる



## ◎つゆ

**オホーツク海**

気団(低温・**湿潤**)と

**小笠原**

気団(高温・**湿潤**)

の勢力がつり合い、東西に **停滞前線** ( **梅雨前線** )ができる。

**長雨**

になる

大雨で土砂災害や洪水の被害が出るが、**からつゆ**の時は深刻な水不足になる。

## ◎夏

**小笠原**

気団(高温・**湿潤**)の勢力が強い。

→ 高温で湿度が **高** い。

**南東**

の季節風が吹く。

日照時間が **長** く、日差しが **強** い。

雲(積乱雲)の発達で、**雷雨**になることも。

蒸し暑い

晴天が

つづく

※ **オホーツク海** 気団の勢力が弱まらなると、**冷夏**になる年もある。